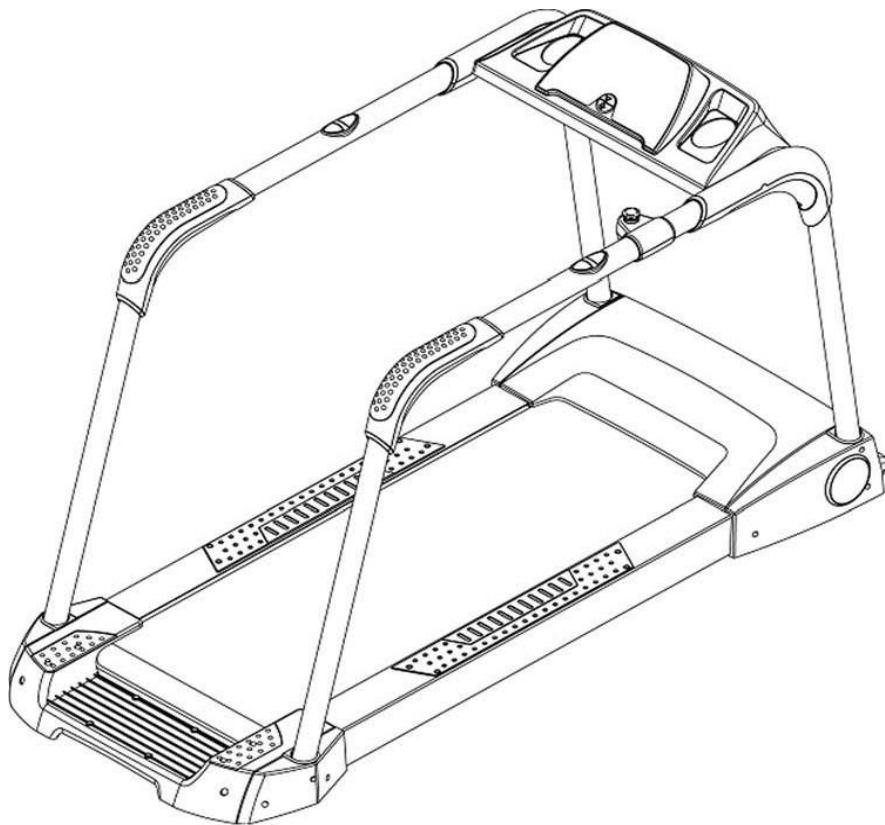


Mirage – Reha

AC 電動ウォーカー FTW-210

取扱説明書



この度は商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

組立て、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用いただきますようお願いいたします。

なお、この説明書はお読みになった後も大切に保管下さい。



輸入代理店

株式会社フジモリ フィットネス事業部

本社：〒933-0838 富山県高岡市北島186

URL <http://fujimori-r.com>

●修理やアフターサービス、各種お問い合わせは

TEL TEL: (0766) 21-0958

FAX TEL: (0766) 21-0957

URL <https://fujimori-r.com/fitness/contact/>



■目次



安全にお使いいただくために	3~7
部品明細図	8
部品セット	9
組立方法	10~13
ベルトの片寄り調節方法	14
シリコンボトルの使用方法	15
メーターパネルの操作方法	16~24
製品仕様	25
製品保証書	26

■安全におつかいいいただくために




このたびは AC 電動ウォーカーをお買い求めいただきありがとうございました。

●ご使用前にこの「安全におつかいいいただくために」をよくお読みになり、この製品を正しくお使いください。

●ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

 警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
 注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

図記号の例

	禁止の行為であることを告げるものです。
	警告、注意を促す内容があることを告げるものです。具体的な内容を近くに文章で示します。
	行為を強制したり指示したりする内容があることを告げるものです。

健康を害することのないようための注意事項

警告

- 本機は、健康維持・増進を目的とした製品であり、事前に医師に相談する必要がある場合、及び「家庭内リハビリ用」に使用する場合、また身体に病気や障害のある方はトレーニングを始める前に必ず専門の医師にご相談してから使用してください。特に次の病気のある方は、必ず医師にご相談ください。心臓病（狭心症・心筋梗塞など）、高血圧症（降圧剤を服用中の方など）、糖尿病、呼吸器疾患（ぜんそく・慢性気管支炎など）、変形性関節リウマチ、痛風など

注意

- ご年配の方や運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師、またはスポーツトレーナーにご相談ください。
- 本機をリハビリテーションの目的に使用される場合は、危険防止のため必ず監督者の下で使用してください。

お子様の事故や怪我を防ぐための注意事項

警告

- お子様は遊具として使用しないよう保護者の責任で注意してください。

注意

- マシンを使用している時にお子様をマシンに近づけないでください。

設置上の注意事項



警告

- 防爆については、特に考慮して設計されていませんので、可燃性ガス等の発生する恐れのある環境での使用は、引火、火災、爆発の恐れがあるのでお止めください。
- トレッドミルの改造は絶対にお止めください。
- マシン設置時には、静電気故障及び感電防止の為、アースを正しく確実に接地してください。

尚、ガス管をアースに使用するのは、火災、爆発の恐れがありますのでお止めください。



注意

- 本機は屋内での使用に限定し、屋外での使用はしないでください。また、水のかからない場所に設置・保管し、熱器具の近くや浴室の脱衣所等の湿気の多い場所への設置は避けてください。さびの発生や電気部品の不具合等発生するおそれがありますので、注意してください。
- 湿度が多い、風通しが悪い、走行ベルト面が直射日光の当たる場所は避け、ほこり、塩分、硫黄分などにより、悪影響の生じる恐れのない場所に設置・保管してください。
- 使用者がトレーニング中に他の器具等に触れないような場所に設置し、本体の後方面は走行速度についていけない場合など待避所として1 m以上空けて設置してください。
- 使用中の運動動作領域を十分確保できる水平な床面上に設置してください。
- 本体の設置部のガタつきや、ハンドルとの接合部に異常がないか、固定ノブ等の緩みがないかを確認してください。
- 電氣的な各接続部は、確実に接続されている事、濡れていない事、燃えやすい物が近くにない事を確認してください。
- 電源の電圧(100V/12A)、および消費電力が正しく供給できる場所に設置してください。
- コード類を取り外す際は正しく持って取り外してください。

保管上の注意事項

注意

(保管方法及び保管上の注意)

- 使用しない場合は、別の用途には使用しないよう、特に子供が使用しないようコンセントを抜いておくなど、注意してください。
- 屋外や湿気の高いところへの保管は、さびの発生、電気部品等の不具合の原因となるため、避けて下さい。特に走行ベルトの劣化の原因となるため、直射日光や高温の場所に保管しないでください。
- マシンの安全を維持するために日常点検や定期点検を実施してください。
- メンテナンス等で、モーターカバーを外す場合は販売店にご相談ください。内部に高電圧部分があり感電する恐れがあります。

使用上の注意事項

警告

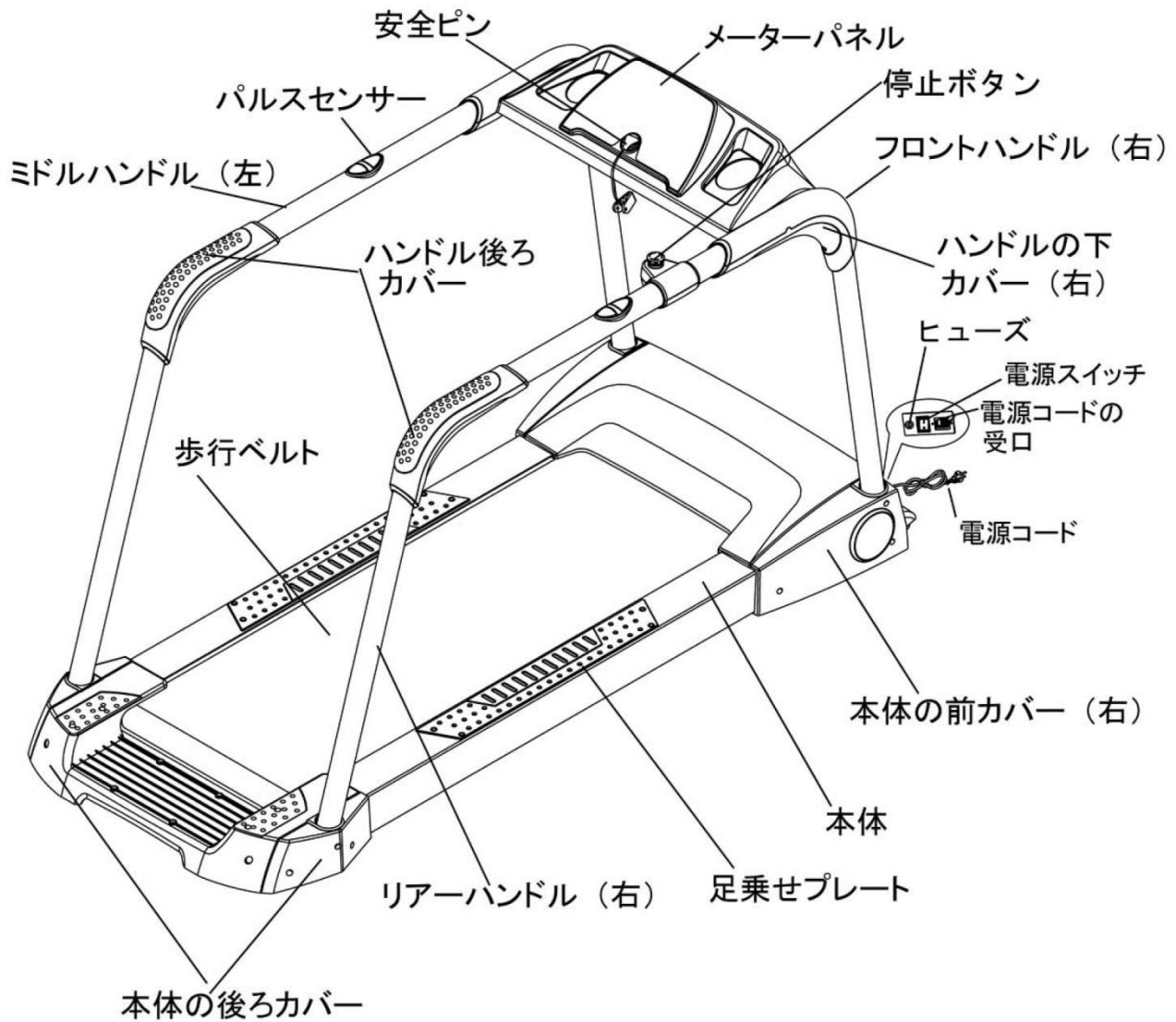
- トレーニングの際は運動に適したシューズ、ウェアを着用してください。回転、駆動部に巻き込まれるおそれがあるため、紐などのない服装にしてください。
- 操作者および使用者は、手や足、髪、装飾類衣服などをマシンの可動部分に近づけないでください。巻き込まれたり、挟まれたりする恐れがあります。
- 電源投入時や再起動する時は走行ベルトの上に乗らないでください。走行ベルトが急に動き出す場合があります。
- マシンの速度を急激に変更しないでください。マシンから落下する恐れがあります。
- 身体に変調があったら、すぐに使用を停止してください。



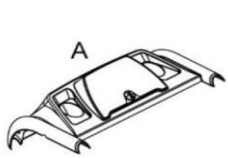
注意

- 本機は「病院リハビリ室、介護施設等」利用軽頻度の施設向けです。「学校、スポーツジム等」利用高頻度の施設利用には適しません。使用の目安は1回の連続使用時間は1時間以内、1日の合計使用時間は6時間以内です。
- このマシンの使用体重制限は120kg以下です。
- 用途（所定の使用方法）以外の使用を行わないで下さい。
- 同時に2人以上での使用、後ろ向きでの走行、自分のレベルを超えた運動、飛び乗り、飛び降りは絶対にしないでください。
- ご使用の前に必ずトレッドミルの状況をチェックしてください。
- マシン、および他の器具等に使用者が触れることがないように注意してください。
- 乗降する場合等に、ハンドルにもたれかかったり、使用中に周囲の人が製品や使用者を押しったり引いたりすると、安定性を損なうおそれがあるため、注意してください。
- 走行ベルトが一方に偏ってきたり、外れそうになったりした時は、直ちに調節部等でベルト調整(P.14)するかご購入元の販売店又は輸入代理店に連絡し対処方法を確認してください。
- 走行ベルトは、局部的に亀裂等が発生するとそれが進展して使用中に破損等し、危険である為、適時確認して使用してください。
- 走行ベルトは定期的に交換が必要です。
交換時期は使用条件、環境によって異なります。
走行ベルトの交換を怠りますと、電子基盤やモーターなどの故障につながります。
- 電源コードを抜き差しする時は必ず電源スイッチを切ってから行ってください。電源スイッチを入れたままだと内部の電子基盤などに悪影響を及ぼすこともあります。
- マシン、および付属品等は次回の使用に支障のないように清浄にしておいてください。

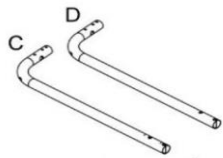
■ 部品明細図



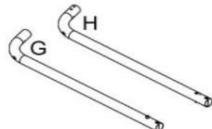
■部品セット



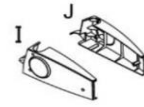
メーターパネル



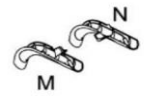
フロントハンドル
(左/右)



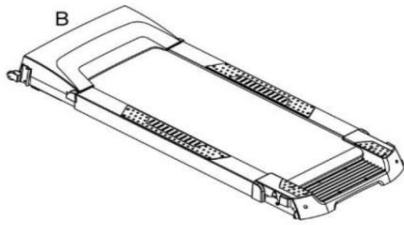
リアーハンドル
(左/右)



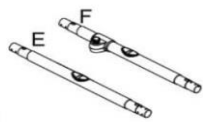
本体の前カバー
(左/右)



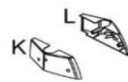
ハンドルの下
カバー (左/右)



本体



ミドルハンドル
(左/右)



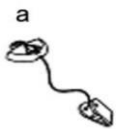
本体の後ろ
カバー (左/右)



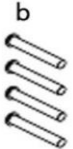
ハンドル後ろ
カバー (上)



ハンドル後ろ
カバー (下)



安全ピン



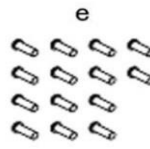
M10×60
ボルト



M10×70
ボルト



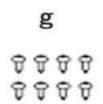
M8×70
ボルト



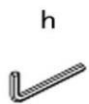
M8×15
ボルト



M5×12
ネジ



4×20
ネジ



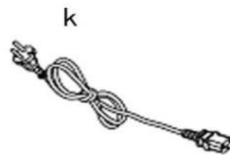
M8 六角
レンチ



M10六角
レンチ



シリコン
ボトル



電源コード



取扱説明書



ボトル



ハンドル用
ラバーカバー

■組立方法

注意

①

組立の際は、床面保護用シート等を敷いてから組立を行ってください。
床面に傷や汚れが付くのを防止します。
作業は安全の為に2人で行ってください。

1、ハンドルの組立

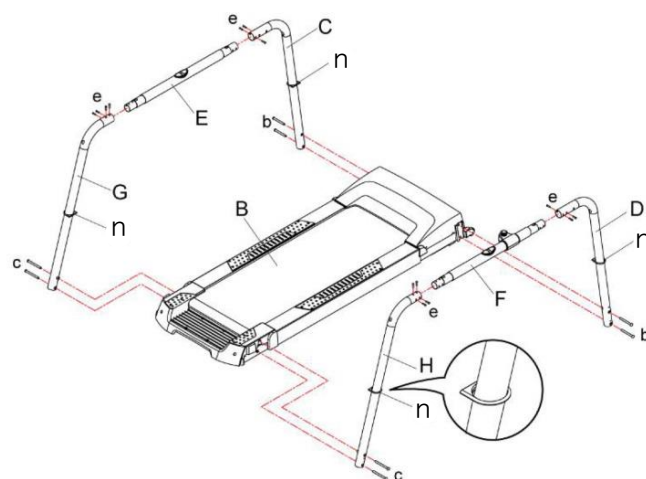
A:ハンドル用ラバーカバー (n)を右フロント (D)
と右リアーハンドル(H)の下から上にはめて
いきます。

B:右フロントハンドル(D)と右リアーハンドル(H) を
それぞれ右ミドルハンドル(F)に差し込んでから、
ボルト(e)で固定します。
最後に六角レンチ(h)でしっかりと締めます。

C:左フロントハンドル(C)と左リアーハンドル(G)
も同じ方法で左ミドルハンドル(E)と固定します。

D:右図のようにフロントハンドル(C)と(D)をそれぞれ
ボルト(b)で本体(B)と仮止めします。

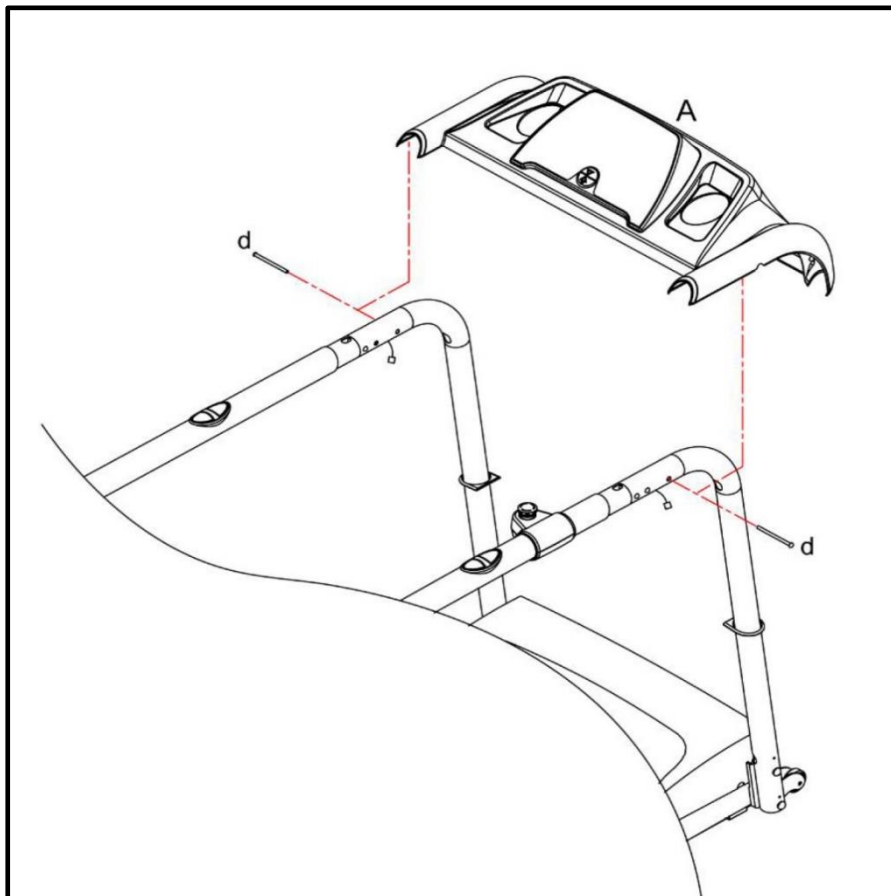
E リアーハンドル(H)と(G)をそれぞれボルト(c)で本体(B)と仮止めします。



<ご注意>

- ① ボルト(b)と(c)はメーターパネル(A)の組立が終わるまで、仮止めにして下さい。メーターパネル(A)を組立ててから、しっかりと締めて下さい。(メーター組立て前に強く締めると、メーターが組立て難しくなります)。
- ② ハンドルを本体に組立てる作業は二人で行ってください。一人はハンドルを持ち、もう一人はボルトを本体に差し込んで下さい。

■組立方法



2、メーターパネル(A)の組立

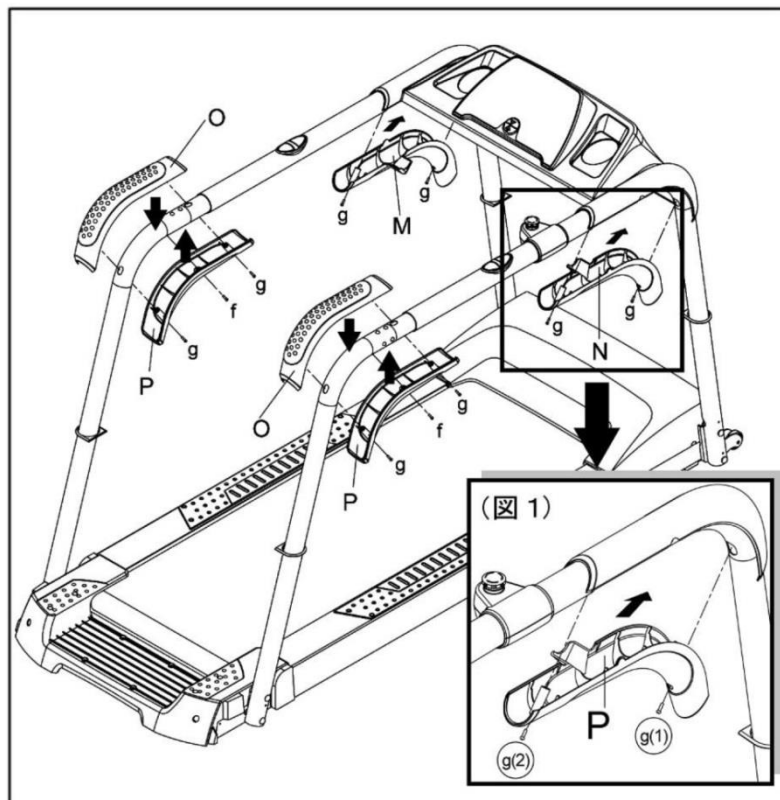
- F :メーターパネル(A)を右上図のようにハンドルの上にはめます。
- G :ハンドル側のコネクタとメーター側のコネクタを接続してから、ボルト(d)でメーターパネル (A)をハンドルに固定します。最後に六角レンチ(h)でしっかりと締めます。
- H :フロントハンドルとリアーハンドルを取り付け用ボルト(b)と(c)を六角レンチ(i)でしっかりと締めます。

<ご注意>

ボルト(d)を締める際、コネクタコードを挟まないようにご注意ください。

■組立方法

3、ハンドルカバーの組立



I: ハンドルの下カバー(M と N)を右上図のように下からフロントハンドルにはめた後に、ボルト(g)で締めます。事前にプラスドライバーをご用意下さい。

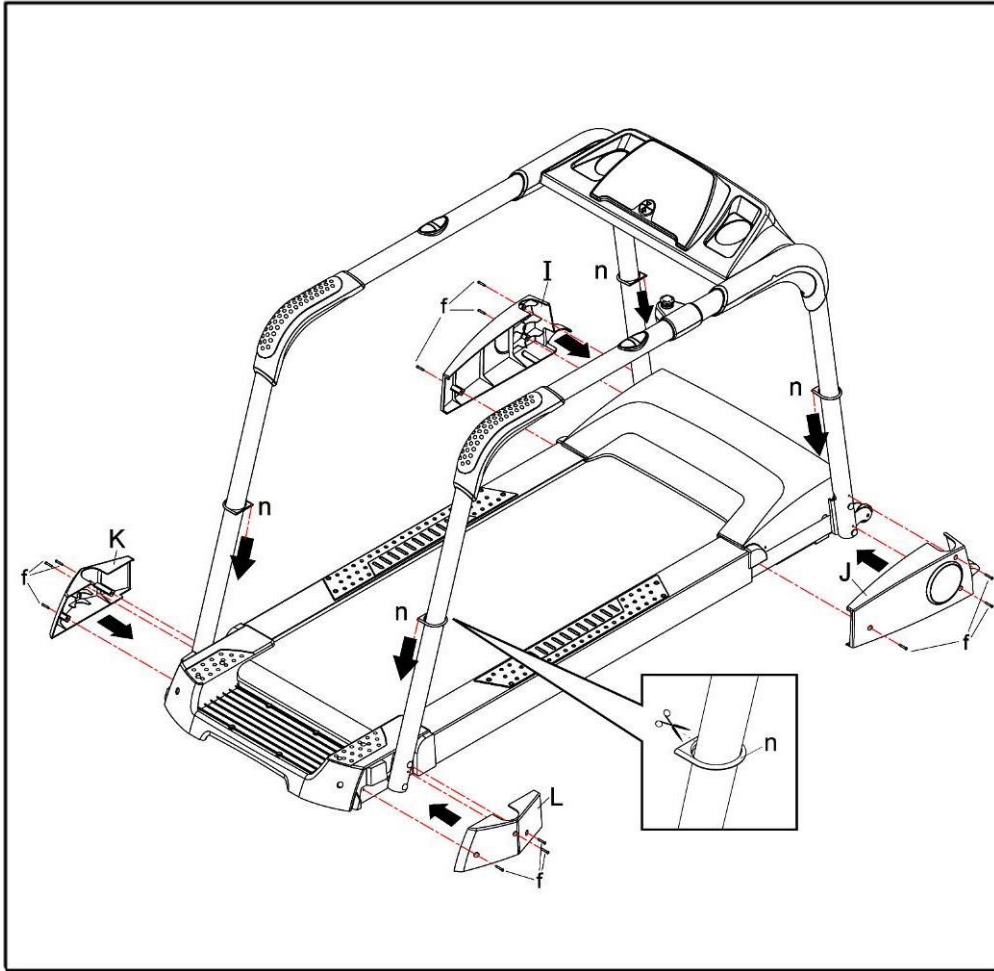
〈ご注意〉

- ① ハンドルの下カバー(M と N)をボルト(g)で締める際、順番としてまず g(1)を締めてから g(2)を締めて下さい。(図 1 参照)
- ② コネクタはハンドルの下カバー(M と N)の中に入れ込んでからボルト(g)で締めて下さい。
- ③ ボルト(g)を締める際、コネクタを刺さないようにご注意下さい。

J: ハンドル後ろカバー上(O)とハンドル後ろカバー下(p)を上図のようにリアーハンドルにはめた後、ボルト(g)で締めます。

■組立方法

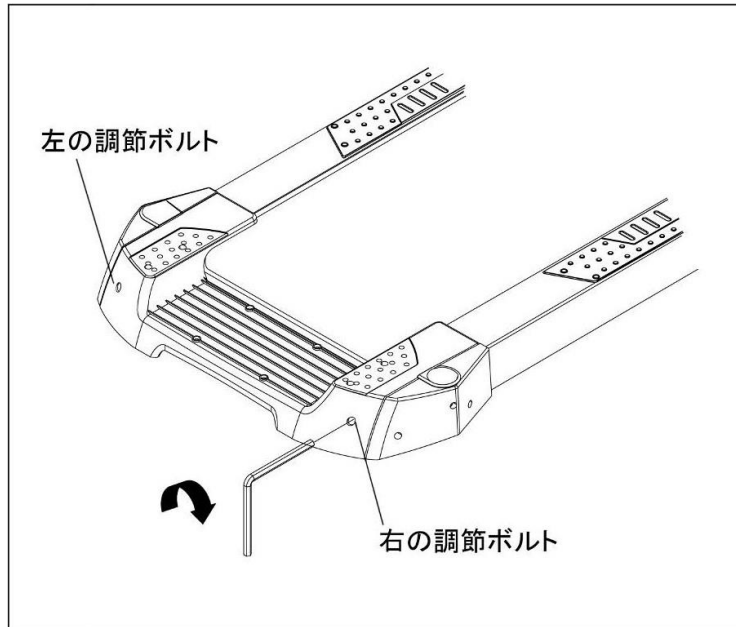
4、本体カバーの組立



- K :本体の後ろカバー(K と L)を上図のように本体のリアーサイドにはめてから、ネジ(f)で締めます。
- L :本体の前カバー(IとJ)を本体のフロントサイドにはめてから、ネジ(f)で締めます。
- M :各ハンドルにはめているハンドル用ラバーカバー(n)を下に持っていき、それで隙間をふさぎます。

■ベルトの片寄り調整方法

歩行ベルトはご使用になる方の歩き方で、左右どちらかに片寄る場合がございます。その際は下の要領でベルトの片寄り調節を行って下さい。



1、右に片寄る場合

右の調節ボルトを六角レンチ(i)で少しずつ右に回し右のベルトを張り、逆に左の調節ボルトを左に回し左のベルトを少し緩めます。

2、左に片寄る場合

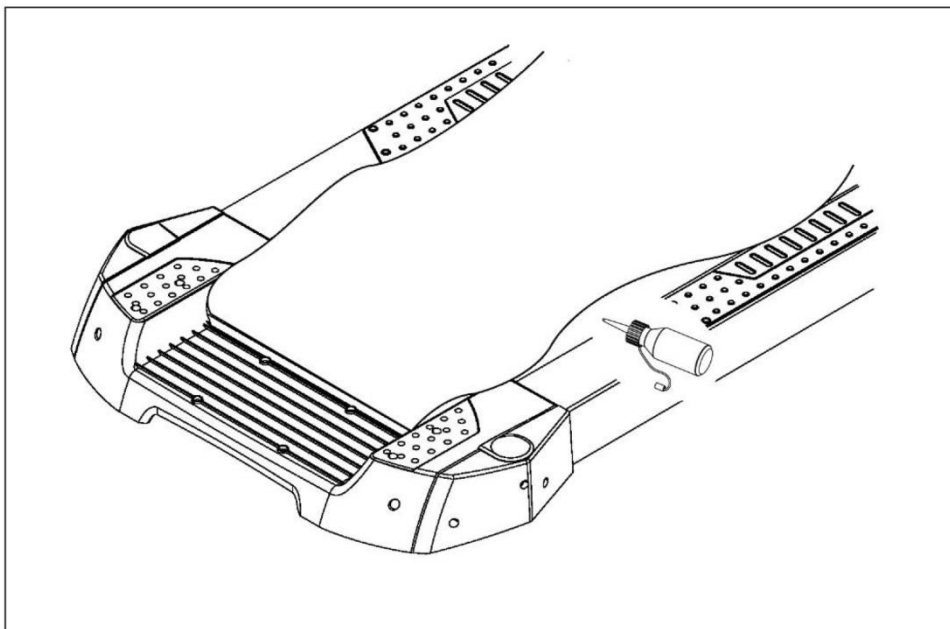
左の調節ボルトを少しずつ右に回しベルトを張り、逆に右の調節ボルトを左に回し右のベルトを少し緩めます。調節はベルトを回転させながら行うと効果的です。

◇歩行ベルトは張りの弱い方に片寄っていきます。片寄っている方のベルトを張ってあげることでよりベルトは真ん中にきます。この際、片方ばかりを張ったり緩めたりするのではなく、片方を緩めたらもう片方を張るようにします。どうしてもうまくいかない時は、一旦両方のベルトを緩めてしまい、あらためて左右のベルトを少しずつ張っていくと調整しやすくなります。

<ご注意>

- 足乗せプレートに触れなければ、ベルトは必ずしも真ん中にある必要はありません。
- ベルトの張り過ぎは故障の原因になりますので、注意して下さい。

■シリコンボトルの使用方法

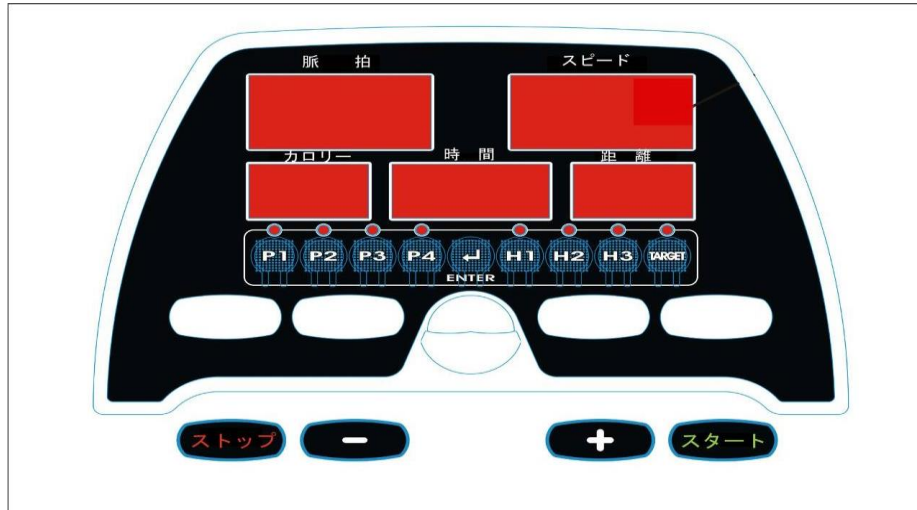


この電動ウォーカーにはシリコンボトルを同梱しております。上図のようにベルトの下にあるボードにシリコンボトルを差込み、ボードにシリコンオイルを塗って下さい。それによりボードとベルトの接触に因る擦れ音や摩擦熱を軽減し、ベルトの回転をスムーズにします。


◇自動的にシリコンの塗布タイミング

メーターパネルは走行距離のトータルが2000kmに達したら、時間の画面に「OIL」(オイル)が5秒間ほど表示されます。この表示はベルトの下(ボード)にシリコンを塗って頂くタイミングのお知らせです。シリコンをベルトの下に塗りつけた後に、メーターパネルの下の「+」と「-」ボタンを5秒間押し、カウントした2000kmの数値をリセットし、「OIL」表示を画面から消します。同様に次の2000kmに達した時点で、同じように「OIL」が時間の画面に表示されます。

■メーターパネルの操作方法



1、 マニュアル操作方法

- A :本体に電源を入れた後に、時間の液晶画面に体重の初期数値 70kg が表示されます。
使用者は画面下の「+」と「-」ボタンを押して、ご自分の体重を入力し、ENTER ボタン() を押して下さい。体重は 23kg~130kg の範囲で選択できます。メーターパネルをリセットする度に、体重の再入力が必要になります。
- B :ENTER ボタンを押して本体が待機状態に入り、スタートボタンを押すと液晶画面が 3 から 1 ま でカウントダウンした後に、一番遅い速度(0.2km/h)で運動を開始します。画面したの「+」ボタンを押すと速度が増やし、或いは「-」ボタンを押すと速度が遅くなります。
- C :運動途中でストップボタンを押すと、一時停止の状態に入ります。時間の液晶画面に「STOP」が表示されます。この状態で 5 分間以内にスタートボタンを押すと、運動を再開します。5 分間以内にスタートボタンを押さないと、機体が自動的に待機の状態に入ります。或いは一時停止の状態、STOP ボタンを 3 秒以上押し続けると、機体が待機状態に入ります。
- D :待機状態の時に時間の液晶画面に「0.0」が表示されます。
- E :運動途中で徐々にストップしたい場合、ストップボタンを押して下さい。
- F :停止ボタンを押すか、安全ピンを外すと、ベルトが自動的にストップします。

■メーターパネルの操作方法



安全ピンホルダー



◇安全ピン

メーター前の赤色の安全ピンは上写真のように安全ピンホルダーにカチッという音が聞こえるまでしっかりと差し込みます。もう一方の引っ掛けフックをご使用になる方の衣服やベルトに挟みます。速度について行かなかった時、安全ピンが外れ歩行ベルトが停止します。



◇停止ボタン

右ミドルハンドルの上に停止ボタンが上写真のように設置されています。運動途中でストップしたい場合、停止ボタンを上から押すと歩行ベルトが自動的に停止します。

■メーターパネルの操作方法

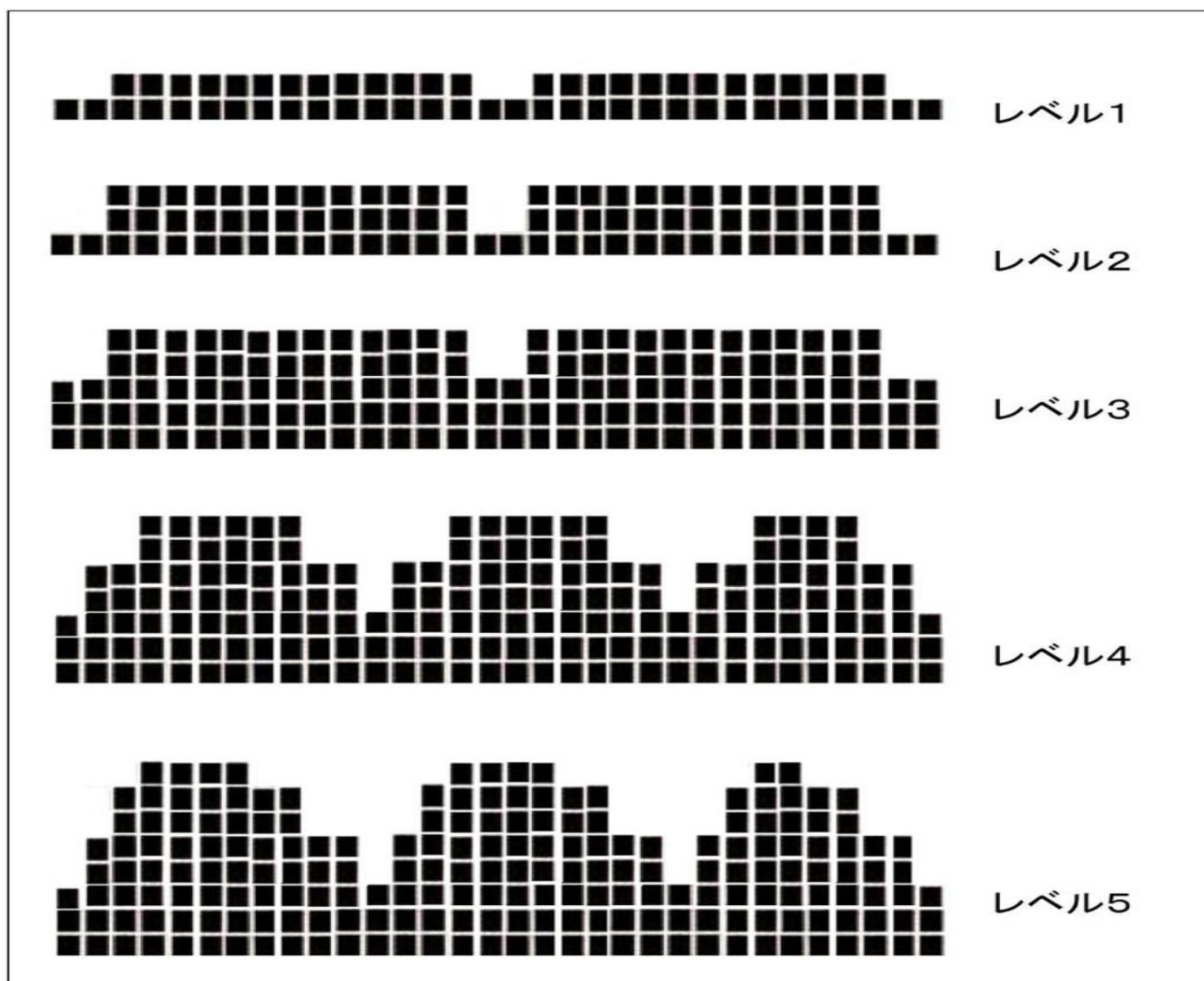
2、プログラムの設定

この電動ウォーカーには 4 種類のスピードプログラム(P1~P4)と 4 種類の脈拍コントロール機能(HI~TARGET)が搭載されています。それぞれのプログラムの中に五つのスピードレベルがあります。

- A :メーターパネルが待機状態の時に P1~P4 のどれかのボタンを押すと、距離の液晶画面に「L1」(レベル 1)が表示されます。画面下の「+」ボタンを押す度に運動レベルは 1 から 5 までの順で表示されます。運動したいレベルを選択した後に ENTER ボタンを押して下さい。
- B :時間の液晶画面に「32」(32 分間)のプログラム運動時間が点滅し表示されます。プログラムの運動可能時間は 20 分~ 99 分までとなります。画面下の「-」、「+」ボタンを押し運動したい時間を選んでから、ENTER ボタンか、スタートボタンを押した後運動が開始します。
- C :プログラム設定の途中でもストップボタンを押すと、メーターパネルは待機状態に戻り、新たに設定することができます。或いは他のプログラムボタンを押すと、他のプログラムの設定がすることになります。
- D :選択したプログラムを運動の途中でストップしたい場合、ストップボタンを押すと速度は徐々に減速しながら停止します。或いは安全ピンを押すか外すと、プログラムの運動が即停止します。
- E : P1 ~ P4 四つのプログラムまたはそれぞれの五つのレベル内容は以下に示す通りです。四つのプログラムは全部スピードのみのプログラムで、傾斜角度は変わりませんのでご注意ください。

■メーターパネルの操作方法

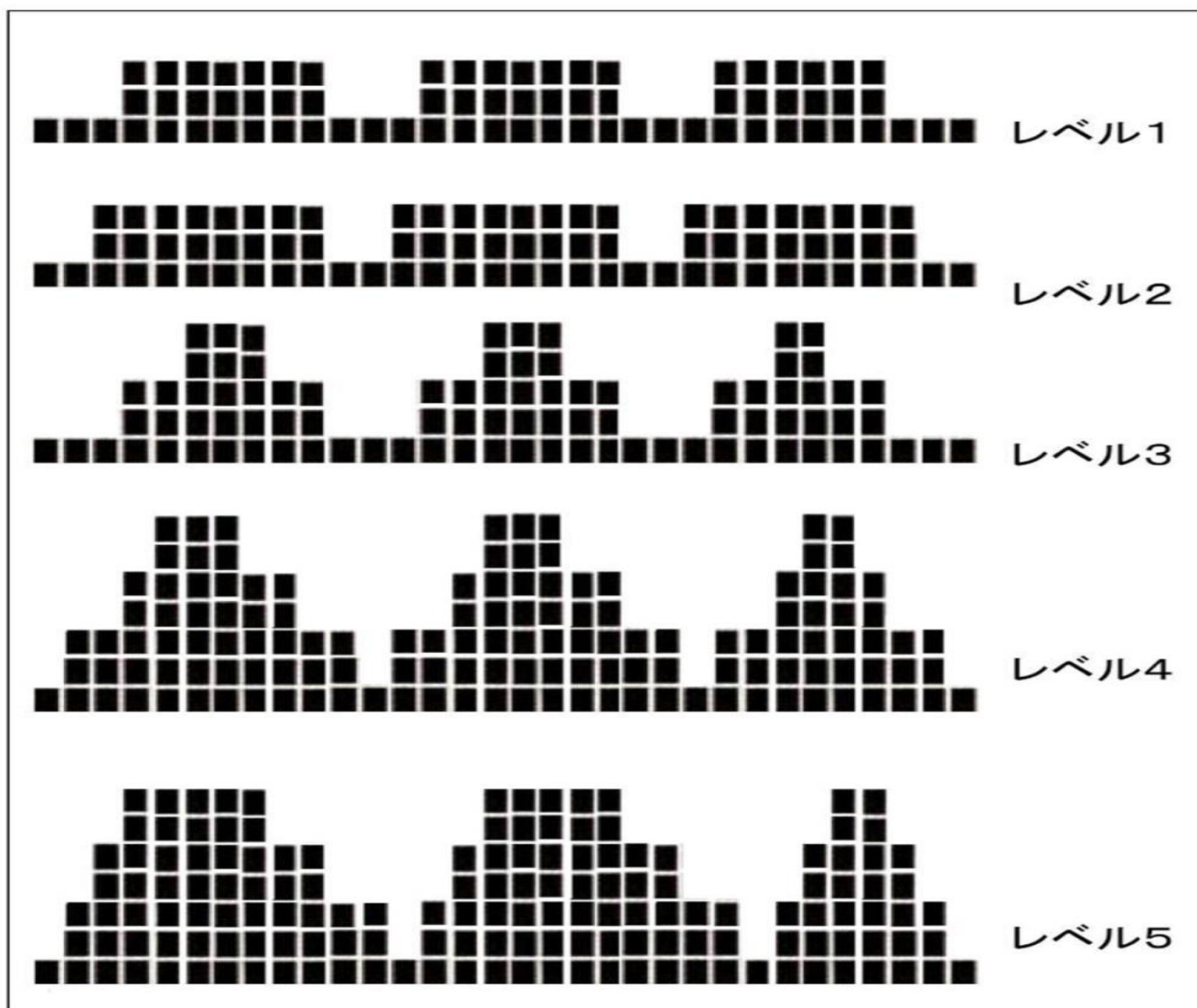
[P1]



P1 (プログラム1)																																
ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
レベル1 速度(km/h)	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
レベル2 速度(km/h)	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1
レベル3 速度(km/h)	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	3
レベル4 速度(km/h)	3	5	5	7	7	7	7	7	7	5	5	3	5	5	7	7	7	7	7	7	5	5	3	5	5	7	7	7	7	5	5	3
レベル5 速度(km/h)	3	5	7	8	8	8	8	7	7	5	5	3	5	7	8	8	8	8	7	7	5	5	3	5	7	8	8	7	7	5	5	3

■メーターパネルの操作方法

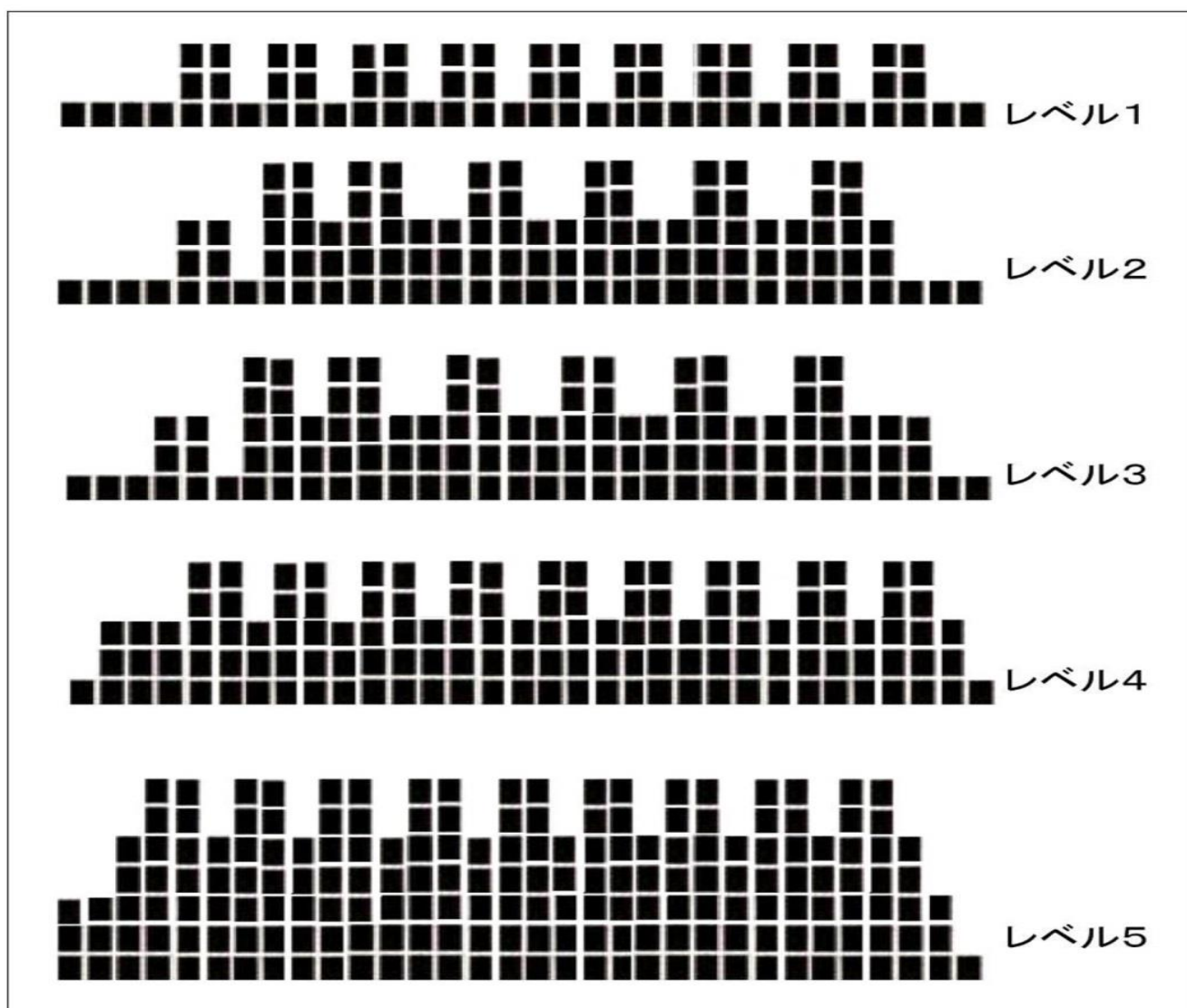
[P2]



P2(プログラム2)																																
ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32
レベル1 速度(km/h)	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	3	3	3	3	3	3	3	1	1	1	3	3	3	3	3	3	1	1	1
レベル2 速度(km/h)	1	1	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	3	3	3	3	3	3	3	3	1	1	
レベル3 速度(km/h)	1	1	1	3	3	5	5	5	3	3	1	1	1	3	3	5	5	5	3	3	1	1	1	3	3	5	5	3	3	1	1	
レベル4 速度(km/h)	1	3	3	5	7	7	7	5	5	3	3	1	3	3	5	7	7	7	5	5	3	3	1	3	3	5	7	7	5	3	3	
レベル5 速度(km/h)	1	3	5	7	7	7	7	7	5	5	3	3	1	3	5	7	7	7	7	5	5	3	3	1	3	5	7	7	5	3	1	

■メーターパネルの操作方法

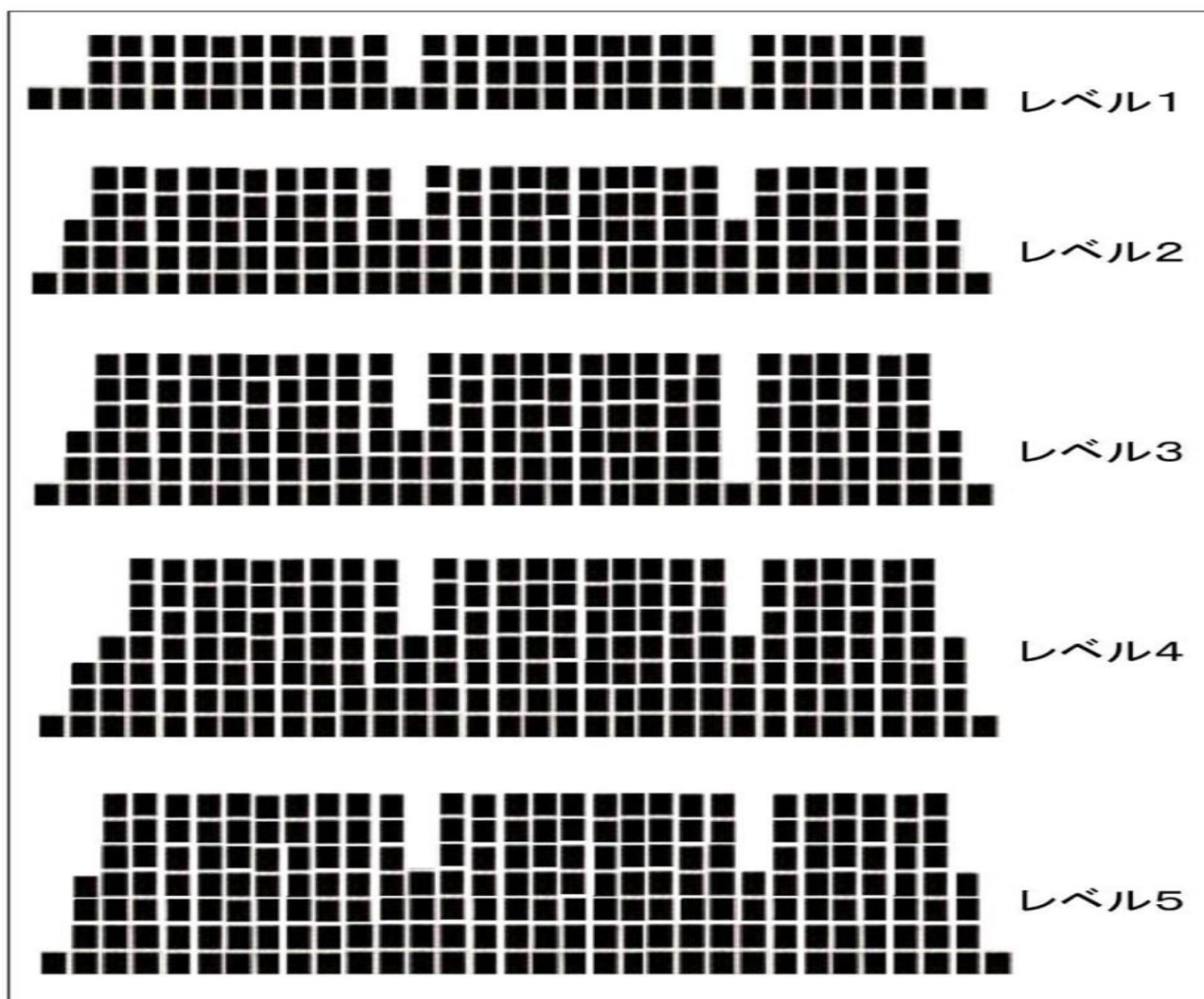
[P3]



P3(プログラム3)																																				
ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32				
レベル1 速度(km/h)	1	1	1	1	3	3	1	5	5	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	1	1	1
レベル2 速度(km/h)	1	1	1	3	3	1	5	5	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	5	5	3	3	3	1	1
レベル3 速度(km/h)	1	1	1	3	3	5	5	5	3	3	1	1	1	3	3	5	5	5	3	3	1	1	1	3	3	5	5	3	3	1	1	1	1	1	1	
レベル4 速度(km/h)	1	3	3	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	5	5	3	1	
レベル5 速度(km/h)	3	3	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	7	7	5	3	1	

■メーターパネルの操作方法

[P4]



P4(プログラム4)																																	
ステップ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	
レベル1 速度(km/h)	1	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	3	1
レベル2 速度(km/h)	1	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	3	6	6	6	6	6	6	3	1	
レベル3 速度(km/h)	1	1	1	3	3	5	5	5	3	3	1	1	1	3	3	5	5	5	3	3	1	1	1	3	3	5	5	3	3	1	1	1	
レベル4 速度(km/h)	1	3	4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	4	7	7	7	7	7	7	4	1	
レベル5 速度(km/h)	1	4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	4	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	4	7	7	7	7	7	7	4	1	

■メーターパネルの操作方法

- F :それぞれのプログラムには 32 のステップがあります。
前の三つのステップはウォームアップで、後ろの三つのステップはクールダウンです。それぞれ 3 分間かかります。例えば一つのプログラムを 20 分間で設定した場合、6 分間はウォームアップとクールダウンを使って、残りの 14 分間は 26 のステップに平均に分けていきます。
- G :プログラム運動の途中で、画面下の「-」、「+」ボタンを押すと、プログラムは次のステップに入ると全体の速度が一緒に上がったり下がったりします。但し、プログラムはクールダウン(最後の 3 分間)に入ると、速度の調節ができなくなりますので、ご注意ください。
- H :プログラムが終わると、時間の液晶画面に「END」(終了)が表示されます。メーターパネルは待機状態に入ります。

3、脈拍コントロール機能の設定

H1、H2、H3 と TARGET は脈拍コントロール機能のボタンです。表示内容は以下の通りです。

H1⇒脈拍のコントロール値が 55%

H2⇒脈拍のコントロール値が 65%

H3⇒脈拍のコントロール値が 75%

TARGET⇒脈拍目標値

A:H1～H3 のどれかのボタンを押すと、時間の液晶画面に「AGE」が表示され、速度の液晶画面に「30」という年齢の数字が点滅し表示されます。年齢の設定範囲は 13～80 才までとなります。画面下の「-」「+」ボタンを押して使用者の年齢を設定してから、ENTER ボタンを押して下さい。

B:時間の液晶画面に「20」(20 分)時間が点滅し表示されます。時間の設定範囲は 5 ～ 99 分となります。
画面下の「-」「+」ボタンを押して時間の設定をしてから、ENTER ボタンか、スタートボタンを押した後運動が開始します。

C:脈拍の液晶画面に使用者の心拍数が表示されます。

4、脈拍目標値の設定

D:TARGET ボタンを押すと、時間の液晶画面に「AGE」が表示され、速度の液晶画面に「30」（30才）という年齢の数字が表示されます。年齢の設定範囲は13～80才までとなります。

E:年齢の設定をした後に、ENTER ボタンを押すと、時間の液晶が画面に「BPM」（心拍数）が表示され、脈拍の液晶画面に設定した年齢に基づき、心拍数が表示されます。脈拍目標数値を設定してから、ENTER ボタンを押して下さい。

F:時間の液晶画面に「20」（20分）という時間が点滅し表示されます。時間の設定範囲は5～99分までとなります。時間の設定をした後に、ENTER ボタンかスタートボタンを押して運動が開始します。

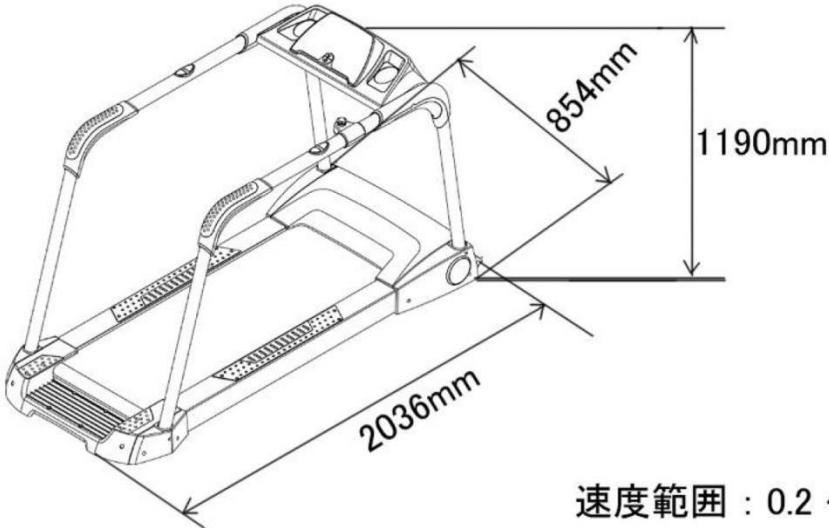
<ご注意>:

脈拍コントロール機能はチェストベルトを付ける時のみ機能します。

脈拍目標値は下記表のように設定しております。

年齢	心拍数			年齢	心拍数			年齢	心拍数			年齢	心拍数		
	H	表示値	L		H	表示値	L		H	表示値	L		H	表示値	L
13	197	124	124	31	180	113	113	49	162	103	103	67	145	92	92
14	196	124	124	32	179	113	113	50	162	102	102	68	144	91	91
15	195	123	123	33	178	112	112	51	161	101	101	69	143	91	91
16	194	122	122	34	177	112	112	52	160	101	101	70	143	90	90
17	193	122	122	35	176	111	111	53	159	100	100	71	142	90	89
18	192	121	121	36	175	110	110	54	158	100	100	72	141	90	89
19	191	121	121	37	174	110	110	55	157	99	99	73	140	90	88
20	190	120	120	38	173	109	109	56	156	98	98	74	139	90	88
21	189	119	119	39	172	109	109	57	155	98	98	75	138	90	87
22	188	119	119	40	171	108	108	58	154	97	97	76	137	90	86
23	187	118	118	41	170	107	107	59	153	97	97	77	136	90	86
24	186	118	118	42	169	107	107	60	152	96	96	78	135	90	85
25	185	117	117	43	168	106	106	61	151	95	95	79	134	90	85
26	184	116	116	44	167	106	106	62	150	95	95	80	133	90	84
27	183	116	116	45	166	105	105	63	149	94	94				
28	182	115	115	46	165	104	104	64	148	94	94				
29	181	115	115	47	164	104	104	65	147	93	93				
30	181	114	114	48	163	103	103	66	146	92	92				

■製品の仕様

品番	FTW-210
品名	AC 電動ウォーカー
寸法	ベルト寸法：510×1340mm
	 <p>速度範囲：0.2 ~ 8km/h</p>
梱包サイズ	2205×940×340mm
本体重量	92.0kg
梱包重量	102.5kg
材質	本体：スチールパイプ 本体カバー：ABS 樹脂 メーターパネル：ABS 樹脂
電源	100V 12A 50~60Hz
モーター	15HP AC
耐荷重	120kg
原産国	台湾

保証書

本保証書は下記の保証期間ならびに保証条件にしたがって、無償修理することをお約束するものです。この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

製品名	AC 電動ウォーカー
製品記号	FTW-210
製造番号	

保証期間はご購入の日から1年です。(但し、スポーツジム等高頻度利用施設は保証期間6ヶ月)

【保証基準：1回の連続使用時間1時間以内、1日の使用時間は6時間以内】

ご購入日： 年 月 日

お名前
ご住所
電話番号

販売店

ご購入後、ご記入願います。ご記入のない場合、保証が受けられない場合があります。

- 取扱説明書の注意に従った正常な使用環境と使用状況で、万一品質上の不具合が発生した場合において、消耗品を除き納入後1年間原則として販売店が保証修理いたします。
- 保証修理は補修、または部品の交換により実施し、これにより取り外された不具合部品は株式会社フジモリの所有物となります。
- 出張修理の場合は出張費を請求する場合がありますので予めご相談ください。
- 保証修理をお受けになる場合には製品保証書の提示が必要となります。
- 保証期間内においても保証書の掲示がない場合は、無償修理の対象になりませんので、保証書は大切に保管してください。
- 保証期間内であっても、次の場合には有償修理にての修理となります。
 - 誤用、乱用および取扱いの不注意によるもの。
 - 株式会社フジモリが認めた技術者以外によって修理や改造をしたとき。
 - 火災、水害、地震、落雷およびその他の災害、戦乱、争乱によるもの。
 - 部品の通常の磨耗、又は経年劣化。
 - 運送途中、備え付け時と使用時に生じた傷、色の退色、および外見上の変化。
 - 機能に影響のない感覚的現象（音、振動等）
- その他の保証対象免責事項
 - 運送、販売の作業によって引き起こされた費用（備え付け、除去にかかわる費用）
 - 取扱説明書の遵守に従わない使用によって起きたあらゆる損害。
 - 保証期間内中でも使用できなかったことによる期間損失等の費用。
- 当社の全責任はすべての環境下で本体の出荷価格を超えることはありません。なお、製造物責任法にかかる係争においては富山地方裁判所高岡支部を第1審裁判所と致します。
- 製品は日本国内の屋内施設の使用に限定し、この保証規定は日本国内の使用に限り有効です。

商品及び修理に関するお問い合わせは販売店にご相談ください。



輸入代理店 株式会社フジモリ

〒933-0831 富山県高岡市北島 186

TEL: 0766-21-0958

FAX: 0766-21-0957

Email: fitness@fujimori-r.com